学校運営協議会　会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第８条第１項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

１　会 議 名　　大垣商業高等学校　学校運営協議会　（第２回）

２　開催日時　　令和７年１１月２０日（木）　１３：３０～１５：３０

３　開催場所　　大垣商業高等学校　校長室

４　参 加 者

会　　長	栗山	利宏	大垣ミナモソフトボールクラブ専務理事
副 会 長	栗田	恵世	JP コーチ＆コンサルティング(株)　代表取締役
委　　員	堀	和英	和合地区　連合自治会長
	日比野	幸江	和合地区　民生委員
	伊藤	小夜子	本校ＰＴＡ　副会長
	後藤	千恵	本校ＰＴＡ　会計監査
	吉田	大介	岐阜協立大学　事務局長
	杉﨑	康宏	大垣観光協会　副会長
	田中	禎一	大垣西ロータリークラブ　青少年育成委員長
	金森	律子	株式会社リリフル　代表取締役（欠席）
学 校 側	増田	康宏	校長
	山田	理嗣	副校長
	衣斐	恵美子	事務部長
	平松	均	教頭
	林	圭子	教頭
	纐纈	サオリ	教務主任（全日制）
	井村	仁美	教務主任（定時制）
	後藤	有喜	連携推進部長

５　会議の概要（協議事項）

（１）　地域と連携した教育活動に関する事項について

・本校生徒によるプレゼンテーションを見ての意見交換

・本年度の地域連携に係る取組の進捗状況と今後の予定について報告

意見１

素晴らしい発表を見させていただいた。商業科らしい取り組みで、大変よく努力をしている。外部連携で制作された紙袋のデザインが優れている。

意見２
　昨年に続き、生徒商業研究発表大会での優勝という素晴らしい成果を収められた。昨年の大商の発表が他校の参考とされているとうかがったので、他校の発表も見たいという気持ちになった。多くの取り組みがあり、普通高校にはない経験をさせてもらえることがありがたい。

意見３
　外部連携の取組がテレビに取り上げてもらえたこともあり、よい実績をあげることができた。揖斐特別支援学校・大商・企業との連携にもつながった。企業からも良い評価をいただいており、今後も支援を続けていきたい。

意見４
　どのようにメニュー開発をしているのか。
　　→「　講義、実店舗での実食　→　アイディア発想　→　発表会　→　決定　」という流れ
　販売場所はどこか。
　　→企業の全店舗と本校のイベントでの販売

意見５
　連携数は現在の数が限度ではないかということだが、確かに増えればよいということではない。深堀りしていけば、おのずと上限がでてくる。連携相手を探すのは苦労だろうが、入れ替えなどが行われていくと地域とより広くつながることができる。
　→今回の資料以外にも多くの連携を取り組んでいるが、資料として掲載しているのは、授業で実施している取り組みである。

意見６
　簿記部の全国大会の取組では、高校生のレベルで解決できるものを課題として提示している。経営改善の場合は、財務諸表などの経営資料を提供いただき取り組んでいる。

意見７
　和合地区センターまつり、小野小校区祭、お年寄りを囲む会などの地域の行事に関わっていただけている。生徒は、理解力・対応力が高い。お客様からの評判も良く、感謝している。

意見８
　防災クラブ指導者研修会では、寸劇を発表していただいた。このようなイベントに高校生が関わってもらえるのは、大変珍しく意義深いものである。防災食体験では、「知ってよかった」との声もいただき、頼もしさを感じた。多くの取組を行っているため、すべての行事に参加していただくのは難しいことだが、今後も一緒に取り組んでいきたい。

（２）学校評価（外部評価）結果に関する事項について
　・学校評価の結果について報告

意見９
　PTA 役員は参加できる学校行事が多く、子どもの様子を見る機会となりありがたい。役員でない方から、参加できる学校行事を増やしてほしいという声もある。
　→学校開放日（期間）に学校へ来ていただけるよう、今後も情報発信していきたい。

意見１０
　地域等への開放の機会が少ないとのことだが、大商の取り組みをみていただく機会を作っていきたい。未来留学成果発表会に是非ご参加いただきたい。

意見１１
　高校生は広範囲から通学する。気象に関する情報のタイミングが遅いことがあったためできるだけ早い対応をお願いしたい。
　→公共交通機関の停止等、情報が入るまでに時間がかかることもある。生徒や保護者へ、できるかぎり早く連絡ができるよう、今後も努力していきたい。

意見１２
　外部評価にある「大商の伝統とは何か」に答えるのは難しい設問であるように思えるがどのように考えているか。
　・礼節　・部活動　・士魂商才　・校歌　・母校愛の強さ
　・自立して生きていける力の育成　・地域とのつながり　・明るさ　・マナーの良さ
　・校舎設備は古いが、大切に使われていることが感じられる。
　・保護者にこの設問は不要でないかと思う。
　・校歌が４番まである学校も珍しいが、４番まで全員が歌えるのか。
　　→全員が歌えるよう大商検定の取組で校歌指導をしている

６　会議のまとめ
・第２回学校運営協議会では、地域連携に関して、生徒による事例発表を参観した。担当者による進捗状況と今後の予定についての報告を受け、地域連携の在り方について様々な立場から意見が得られた。
・学校評価の結果に対する意見も踏まえ、今後の学校運営やふるさと教育推進の参考としたい。